

新年に想う 「活動できる環境に感謝して」

日本包装管理士会 会長 井上伸也

会員とそこご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

日本包装管理士会（IPP）は、本年創立50年を迎えます。この長き期間にわたって活動の場を提供していただいた包装関連業界の皆様と活動を継続していただいた諸先輩会員の方々に感謝し心よりお礼申し上げます。



私達は昨年、50周年記念事業の第一段階として、記念の年を告知するキャラクター「つつむ君」を決定し、会の印刷物などに使用して50周年をアピールしております。会員の皆様のお手元には「つつむ君」シールをお送りいたしましたがご使用いただけておりますでしょうか？

わずかな数のお届けですがどうかご活用ください。

本年6月10日には創立50周年記念事業として、記念セミナーや式典・懇親パーティーの開催が決定いたしております。記念誌編集も原稿の最終段階にかかっておりますので、完成をご期待ください。

日本包装管理士会が1966年の会発足以来続けている主要な活動のひとつ「2015年包装界10大ニュース」の選定に際しては多数の会員よりご提案をいただきました。選定の結果については、JPIの機関誌「包装技術」をはじめ、業界紙に寄稿するなどの手段で会員以外の方へも告知し、管理士会の活動をアピールしてきました。本紙ipp newsでも全文を掲載いたしておりますのでご一読いただけるようお願いいたします。

暦年区切りの10大ニュースでは年末の出来事は選ばれにくい事情にあります。2015年末には地球温暖化対策を京都議定書から一歩前進させる協定がCOP21で18年ぶりにまとまりました。本来ならばこのことなども選ばれていたのでは？と考えさせられました。

2016年はIPPにとって日頃の活動継続の成果をアピールする年と考えております。50周年記念事業のみならず、いろんな機会に活動について情報発信を積極的に行いたいと思います。自己研鑽による実力向上を支援し、属する企業・団体内でその実力が発揮されることをバックアップし、次に向けて前進する日本包装管理士会であることを目指し、2016年が会員とご家族の皆様やIPPにとって良き年となることを祈念いたしております。

《INDEX》

本部報告	2
2015年包装界・10大ニュース	3
支部だより	4

PACKAGING INFORMATION
包装技術者の連携と協力をめざす

日本包装管理士会 会報
No.120

ipp
news

ipp news
2016年1月25日発行
編集人／荒井拓哉
発行／日本包装管理士会
東京都中央区築地4-1-1
TEL 03-3543-9250

日本包装管理士会 創立50周年記念

記念セミナー、記念式典・パーティー のお知らせ

日本包装管理士会は、本年、創立50周年を迎えます。これを記念して下記により、記念セミナー、記念式典・パーティーを開催します。50年に一度のイベントです。

皆様、奮ってご参加下さい。

日時：2016年6月10日（金）17：00～20：00

会場：アグネスホテル ホール（飯田橋）

会費：8,000円（記念セミナー受講料・パーティー参加費）

●イベントスケジュール

- ・14：00～15：30 別会場にて第50回定時総会
- ・17：00～18：00 記念セミナー
- ・18：10～20：00 記念式典・パーティー



つつむ君

●記念セミナー

テーマ：地方創生が生むパッケージの新潮流

講師：下川 一哉氏（意と匠研究所 代表）

下川講師は、2014年3月まで「日経デザイン」の編集長を務められ、現在は「意と匠研究所」代表の他、多数のメディア出演・講演、京都造形芸術大学客員教授・多摩美術大学非常勤講師、公的機関の各種委員、デザインコンペティション等の各種審査員等、幅広くご活躍をされています。下川氏のフレッシュなご講演にご期待下さい。

●下川講師からのメッセージ：地域資源を生かしたモノ作りや特産品の開発が活発化しています。地方創生を目指す政策は、全国の事業者の新たな商品開発やブランド作りの機運を確実に後押ししています。これにともない、パッケージ開発も今後、急速に高度化と高付加価値化していくでしょう。キーワードはデザインです。サイズや容量のみならず、機能や質感など、使い手の感性に響くパッケージの開発が急務になっています。地方ブランド作りをプロデュースする視点から、実例をベースにパッケージ開発の新潮流と実務を解説します。

皆さんの新市場開拓と顧客満足の向上にお役立てください。

●連絡先：日本包装管理士会 本部 事務局・荒井宛

TEL：03-3543-9250 E-mail：ipp@pk9.so-net.ne.jp

2015年包装界・10大ニュース

日本包装管理士会（IPP）選定

1.世界初となる機能性セルロースナノファイバーの実用化商品が発売開始

木材繊維（パルプ）を高度にナノ化（微細化）したバイオマス素材を化学処理したセルロースナノファイバーを用いて、高い消臭機能を持つシートの実用化に製紙会社が成功した。このシートを大人用紙おむつに採用、世界初となる実用化商品として、10月1日より全国で発売開始した。セルロースナノファイバーは植物繊維由来であることから、生産・廃棄に関する環境負荷が小さく、軽量であることが特徴で、高い弾性率、温度変化に伴う伸縮が良好、酸素などのガスバリア性が高いなど、優れた特性を持っており、今後、包装材料への展開が期待される。

2.インバウンド消費の波、新たなマーケット

韓国・台湾・香港などでの日本観光ブームに加え、中国人の観光ビザ条件緩和などで、3年間で2倍に増えた訪日観光客の購買力は凄まじく、インバウンド市場の勢いが止まらない。日本製品は食品や薬品・医療雑貨、化粧品等の安全性が購買動機において最優先されている。これらの商品はインバウンド（爆買い）の恩恵で消費が盛り上がり、その包装材料も対前年1.5倍まで拡大している業界もある。

3.TPP交渉が大筋合意

2015年10月、環太平洋地域の12か国が、貿易品目の95%での段階的な関税撤廃や種々の経済ルールを盛り込んだ経済連携協定に大筋合意した。世界のGDPの4割を占める巨大経済圏であり、貿易や経済のルールの世界基準となることが期待される。また、産業構造の変化が起り得る。日本政府試算のTPP効果は3.2兆円。消費者には価格や選択のメリットをもたらす。事業者は新たな競争に直面する一方、加盟国へ打って出易くなる。

4.新しい食品表示制度が施行される

2015年4月1日に食品表示法が施行され、食品衛生法、JAS法及び健康増進法の3法の食品表示に関する規定を統合する制度が創設された。また、新たに「機能性表示食品」の制度が創設され、商品の差別化に貢献するパッケージが増えた。特定の保健の目的が期待できるという食品の機能性を表示できる制度は、これまで国の審査が必要な「特定保健用食品（トクホ）」と国の規格基準に適合した「栄養機能食品」だけだったが「機能性表示食品」が加わり包装分野にも影響が出てくる。

5.包装の環境配慮JIS制定

経済産業省は包装の環境配慮に関する日本工業規格（JIS）を制定した。1995年の容器包装リサイクル法制定以降は各産業での包装の環境負荷低減を目指した努力が進められている。このような社会的要請の中、包装の環境負荷を最小化する手順や評価方法について、全体で6部に取りまとめる検討を進め、第1部（一般的要求事項）、第2部（包装システムの最適化）、第3部（リユース）を先行して制定した。包装の環境配慮につい

て客観的なものさしを示されたことになり、包装への正しい評価を後押しする期待も高まってきた。

6.マイクロプラスチック問題への世界的取り組みが加速

2015年6月のG7エルマウ・サミット首脳宣言に、海洋ごみ、特にプラスチックごみを世界的課題と認識し、海洋ごみ問題に対処する活動と解決策にG7がコミットすることが盛り込まれた。海洋に流出したプラスチック包装や容器が5mm以下の欠片（=マイクロプラスチック）になり有害物質を吸着・濃縮し、食物連鎖により人間にも影響がでるとされている。

米カリフォルニア州は客へのレジ袋の提供を禁止、歯磨き剤、洗顔剤などに使われているマイクロビーズの製造と販売を5年後に全面禁止する法案を制定した。

3Rの推進、生分解プラスチックの実用化、脱プラスチック化などが、容器・包装や中身に強く求められていく見込み。

7.食品分野で機能性を向上した新容器が続々販売

醤油に続き食用油でも鮮度保持に優れた「二重構造密封ボトル」を採用。粉チーズでは筒型成形容器が定番である中、口栓付きスタンディングパウチを採用することにより、容器内で固まった粉チーズをもみほぐすことが可能となった。生クリーム用容器でも利便性向上と保存性アップに「リキャップ可能なスパウトパウチ」を採用。小麦粉用容器では持ちやすい、ふり出しもすり切りもできる「キャップ付き小容量ボトル」を採用し、単身やシニア世帯などの不満を解消している。

8.使用後の廃棄を容易にした紙製容器・非常用マグネシウム空気電池を開発

東日本大震災で被災した際、非常時の携帯電話の電池切れで情報が遮断された事態に対応するため、電池メーカーと包装材料メーカーが共同で非常用電池を開発。水を入れるだけで多数の携帯電話に電気を供給できる「マグネシウム空気電池」で、液体紙製容器の包装技術を用いて使用後の廃棄性にも配慮した新容器を開発した。

9.最新技術AR（拡張現実）を、パッケージにも活用

店頭で目に止まるパッケージには、その魅力を伝える様々な情報を詰め込む必要がある。「AR（拡張現実）」は、そのようなニーズに対応できる技術で、スマートフォンやタブレットの増加と共に企業の宣伝・販促キャンペーン戦略としてパッケージにも採用されてきている。

10.暮らしの包装商品展 2015

2015年9月11日～13日、暮らしの包装商品展2015が、「知ってなっとく！包装容器の新事実！」をテーマに、ららぽーとTOKYO-BAYにおいて開催された。商業施設内での開催は初めての試みであり、多くの一般消費者に包装の機能や重要性を楽しみながら知って頂く機会となった。

北海道支部だより ●●●

北海道支部長 酒井 幸彦 (36期)

新年明けましておめでとうございます。

IPP会員の皆様には元気で過ごしの事と思います。

北海道は12月に入り、割と穏やかな日が続いており、札幌市内は道路もアスファルトが見えて車も運転し易い状況です。逆にスキー場は雪が少なく困っているとの事です (12月14日現在)。

北海道経済はインバウンドの影響もあり、観光産業は潤いもありましたが主力の1次産業、特に水産関係は非常に厳しく昨年の日ロ漁業交渉の結果流し網漁禁止 (今年より)、更にはサンマの漁獲減 (公海上にて外国船が乱獲)、又秋鮭の魚体の小型化等海水温の高さが影響 (震災以降?) しているものと思われます。海水温の高さは地球温暖化の影響かも知れません。我々包装に携わる者としては積極的に環境に優しい材料を取り込み、CO₂削減に協力し常に【環境】を念頭に置いて取り組んで行かなければと思います。

又、昨年妥結されたTPPが北海道にとってどのような影響があるか、北海道民としては関心を持って見ていかなければと思っています。

さて、今年はIPPにとって50年という節目の年です。6月の50周年記念式典に向けて本部の方々は何かと大変だと思っておりますがよろしくお願い致します。

2016年はIPP会員の皆様並びに所属する企業が良い

年になりますようご祈念申し上げます。

【包装懇話会開催】

今年度の懇話会は「食品に対する危害と、安全性を確保するにはどうするか」包装に携わる我々にとっては身近な問題として取り上げました。

テーマとしては「クレーム対策に役立つ異物検査～分析手法と事例の紹介～」と題して日本食品分析センターの山田瑠美子氏、「フードディフェンスやリコール問題について」を北海道大学名誉教授の一色賢司氏にそれぞれ講演をいただきました。会員の関心も高く出席は28名にて熱心に耳を傾けておりました。



JPI・IPP共催 包装懇話会

東北支部だより ●●●

東北支部 副支部長 斎藤 昇 (13期)

第50期新包装管理士誕生

毎年同じテーマですが、今回も包装管理士講座50期生の包装論文発表会・合格証書授与式・新包装管理士を囲む会の報告です。期日は10月28日 (水) で場所は管理士講座仙台会場と同じ仙台商工会議所会館で開催しました。今年は受講者23名が全員合格しましたので包装論文発表者も多く、12件の発表となりました。以下発表テーマと発表者です。

1. 「部品「ヒートポンプ」の包装改善」
浅野光一氏 東北小簾 (株)
2. 「包装仕様見直しによる包装作業性向上」
明永貴志氏 YKK AP (株)
3. 「カレールー用外装箱の両面段ボール化による包装改善」
藤林龍耶氏 レンゴー (株)
4. 「いちご宙吊りケースの改善」
武井信幸氏 三共木工 (株)
5. 「緩衝剤のプレス加工時に発生するタイコの条件と

- 原因」
吉田裕子氏 (有) 仙台フォーム
6. 「牛タン販売ケースの仕様変更による包装改善」
檜崎圭氏氏 (株) 丸 定
7. 「工数削減に優れる04組立式ケースの包装提案」
情野拓也氏 (株) 丸 定
8. 「段ボールによる重量物子梱包時における底トレイと外装箱の連結についての提案」
馬場健太郎氏 (株) トーモク
9. 「PET向けケース胴膨れの改善」
松田英輔氏 王子コンテナ (株)
10. 「ボイル・レトルト殺菌された包装材料の検査方法、及びその検査方法を用いて作製したガスバリア性フィルム付与の包装材料の製造方法」
奥谷祐紘氏 東レフィルム加工 (株)
11. 「PS素材の特徴を活かした寿司容器の開発」
大勝創氏 福助工業 (株)

P5に続く→

P4から続く→

12. 「きゅうりのP-プラスフィルム包装による一般穴あきOPP防曇フィルム包装からの鮮度保持改善」

穴戸達也氏 (株) 高 速



50期生の包装論文発表



50期生の包装論文聴講者

上記発表者の中でYKK AP (株) 明永貴志氏が11 / 19 ~ 20福岡で開催された第53回全日本包装技術研究大会で発表されました

発表終了後、JPI本部より古屋専務理事をお迎えして第50期包装管理士合格証書授与式を行いました。



合格証書授与式 (JPI 古屋専務理事より授与)

その後、場所を4階レストランに移動し、新包装管理士を囲む会を開催しました。合格者へ管理士会入会勧誘も行いましたが即入会はなく会社上司の了解が必

要との事で後日連絡をいただく事になりました。



第50期生を囲んで



新包装管理士を囲む会



新包装管理士を囲む会

1月の支部予定は1 / 22 (金) 講演会と東北包装界新年名刺交換会を開催します。

「IPP ホームページ」に 投稿しよう！

<http://www.ippj.net/>

「IPPホームページ」に掲載したい皆さまの記事や写真を、事務局にお送り下さい。事務局でアレンジし、ご確認をいただいたうえで、ホームページにアップいたします。

ホームページをどんどん活用し、包装管理士会や各支部の活性化を図りましょう。

本部事務局 E-mail : ipp@pk9.so-net.ne.jp

関西支部だより ●●●

関西支部 細田 基則（13期）

本年度も関西支部は「広く会員の皆さまに交流の場を提供する」という活動テーマのもと、様々な活動を続けています。会員の皆さまはもとより一般の包装関係者の参加も多く、広く交流と情報交換の場所となっています。

第50期包装管理士授与者の皆さまの中からも関西包装管理士会に加入して頂いた方々が多々あり、老熟男女交えた交流の機会が拡大しています。新たな参加とご支援よろしくお祈いします。

◆ミニセミナーの開催

◇第25回 9月17日

「住友ベークライト包装技術センターの取り組み内容の紹介」

講師：住友ベークライト(株)

尼崎工場包装技術センター 高橋靖典氏

「バリアフィルム 食品包装から有機ELまで」

講師：川崎技術士事務所長 川崎元夫氏



高橋講師（住友ベークライト）



川崎講師（工学博士・技術士）

◇第26回 12月10日

「通販商品における兼用固定パッドの包装改善」

講師：(株)トーモク 開発営業部 早瀬美希氏

「電子レンジ調理機能付きパウチ『スマデリバッグ』の開発」

講師：凸版印刷(株) 関西生活・産業（事）

商品開発部 矢島俊輔氏



早瀬講師（トーモク）

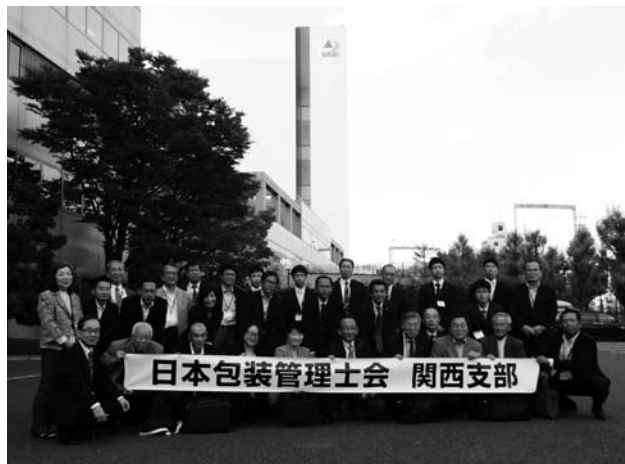


矢島講師（凸版印刷）

◆見学会&セミナーの開催

◇秋期見学会&セミナー 10月28日

①見学会 武田薬品工業(株) 大阪PLANT



講師（左端上）と一緒に記念写真



野路講師（武田薬品工業(株)・コーポレートビジネスセンター）

②セミナー：「進化するパッケージクローズアップ」

講師：凸版印刷(株) トップアイデアセンター
マーケティング部 上森功規氏



上森講師（凸版印刷）



お楽しみの懇親会

◆第50期包装管理士講座合格証授与式に協賛

◇10月23日 KPI会議室



授与式風景



授与者と一緒に（左端：桃川支部長）

包装管理士会関西支部主催
「第27回ミニセミナー」の
お知らせ

研鑽の機会として、皆様奮ってご参加下さい。

- 日時：平成28年 2月26日（金）
17：00～19：00
- 場所：包装技術協会 関西支部 A会議室
- 1) 発表テーマ「海上・陸上輸送用固縛設計システム
と固縛力測定用デジタル張力計の紹介」
講師：山九（株）技術・開発本部技術・開発部
伊藤 雅浩 氏（包装管理士）
- 2) 発表テーマ「たかがピロー、されどピロー」
～最新のピロー包装機事情～
講師：大森機械工業（株）営業本部大阪支店
副支店長 一岡 幹朗 氏（技術士）
- 申込締切：2月18日（木）
- 問合せ先／申込先：日本包装管理士会関西支部
FAX：06-6444-6450
E-mail：ipp-kansai@peach.ocn.ne.jp
問合せ：携帯（桃川）090-4305-3906

関東支部だより

「ベトナム視察報告会」を開催

関東支部 副支部長 道明 誠（23期）

平成27年9月18日18：30から、(株)文昌堂10F貸会議室において、ベトナム視察報告会を開催し、14名の会員が報告会に参加しました。

IPP関東支部のメンバー 5名が7月2日～5日、ベトナムのホーチミンで開催された“International Industrial Machinery Exhibition”を視察し、収集した、ベトナムのパッケージ最新情報を報告しました。

また、ラーメン工場の見学、スーパーマーケットの市場調査、現地駐在者との情報交換などの報告や、経済発展が続いているベトナムの交通事情、インフラ、経済状態などについても報告されました。

参加者からは活発な意見・質問が出され有意義な報告会となりました。



ベトナム視察報告会

第50期包装管理士合格証書授与式（東京会場）

関東支部 事務局

2015年10月23日（金）、秋葉原UDXにおいて第50期包装管理士 東京会場合格証書授与式が行われました。第50期包装管理士の合格者は、全国で424名、今期を含めた包装管理士有資格者総数は、12,665名となりました。東京会場では、192名の新包装管理士が誕生しました。

授与式では、日本包装管理士会 井上会長から代表者に合格証書が手渡され、優秀合格者の、理研ビタミン(株)・小野修平さん、キッコーマン食品(株)・渡部寛之さん、キリン(株)・柳田典子さん、リコーテクノロジーズ(株)・末廣真也さん、ヤマサ醤油(株)・寺沢雄吉さん、王子産業資材マネジメント(株)・神代政子さんが表彰されました。その後、日本包装管理士会 井上伸也会長の来賓祝辞があり、笹木憲一関東支部副支部長による乾杯の音頭によって懇親会が始まりました。新包装管理士に包装管理士会理事のメンバー

が加わり、会は大いに盛り上がりしました。



第50期合格証書授与式（東京会場）



優秀合格者



金賞受賞の小野修平氏（理研ビタミン(株)）



祝辞を述べる包装管理士会・井上会長

関東支部 秋の見学会を開催

関東支部副支部長 古平 篤 (25期)

関東支部の秋の見学会が11月19日(木)に行われ、18名が参加しました。今回は、館林うどん、正田記念館、製粉ミュージアムの3箇所を見学しました。

11月19日、館林駅・東口に集合し、タクシーで館林うどんの近藤工場に向かいました。館林うどんでは、乾麺の製造工程、乾燥工程を見学しました。またビデオで会社概要が紹介されました。



館林うどんにて

その後、正田醤油の正田記念館に向かいました。正田記念館の建物は、1853年に店舗用として建てられたもので、家系図、創業当初の大福帳、醤油製造及び桶・樽の制作に用いた諸道具が展示されており、また、現在製造されている商品の展示もあり伝統のある企業である事を感じさせました。



正田記念館にて

3箇所目の見学場所である製粉ミュージアムは日清製粉の博物館で、日清製粉の創業の場所に新館と本館があります。新館は最新の製粉技術を楽しむ、わかりやすく体感出来るミュージアムであり、小麦や小麦粉に関する様々な知識を学ぶことが出来ました。本館は、日清製粉の創業から現在までの歩みを、時代を追って紹介しており、本館は創業期より事務所

として使われていた建築物を使用しています。また、本館前には美しい庭園があります。



日清製粉・製粉ミュージアム

見学終了後は館林駅近くの居酒屋で情報交換を行い、18時過ぎに散会となりました。

IPP忘年会開催

関東支部副支部長 古平 篤 (25期)

本部・関東支部主催の忘年会が12月17日(木)東京神楽坂のアグネスホテル・バー「オントレ・アー」で午後6時半から17名が参加して開催されました。

井上会長の挨拶の後、各自の情報交換、今年行った事業、来年の計画について熱く語り合い、あっという間に時間が過ぎ、山田支部長の力強い言葉で来年の活発な活動を約束し、散会しました。

今年6月の本部の50周年記念の式典・パーティーもアグネスホテルで行われます。



和気藹々の忘年会

関東支部だより ●●●

写真研究会活動の近況について

IPP写真研究会 会長 林 晴夫（19期）

残暑厳しい8月22日には涼風が望める多摩川河畔の花火撮影会を催行しました。幹事の計らいで有料でしたが、椅子が整然と並べられた特別席で花火撮影が出来ました。天気は快晴で微風ありの花火日和でした。広角レンズで9000発の調布花火を存分に撮影しました。終了後狛江駅前の居酒屋で乾杯しました。

9月12日は都電荒川線での撮影会ということで早稲田駅に集合し、乗り降り自由な1日乗車券を購入しました。楽しいぶらり旅風の撮影会でした。鬼子母神駅、庚申塚駅に下車し撮影し、庚申塚駅から近くにある巢鴨の高岩寺横のすっぽん料理の三浦屋にて昼食を取りました。再度都電にて飛鳥山駅に出て、王子稲荷を参拝し、名主の滝を撮影しました。その後三ノ輪橋駅で下車し、砂場総本家にて当日の撮影話をしながら、乾杯しました。

10月22日から27日には恒例の第12回写真展を横浜山手234号館にて、本年撮影の全会員の40作品を展示しました。会員の作品は写真展毎に充実してきました。初日の22日夕にはポートヒルホテル横浜にて来賓2名を交え、14名にてオープニングパーティを催行し

ました。会期中は好天に恵まれ、ハロウィンに近いこともあり、これまでで最高の約2000名の来会者をお迎えできました。今回も楽しい写真展は大成功でした。

12月6日はゴジラのオブジェがある、新宿・東宝ビルの居酒屋にて、12年目の忘年会を開催しました。ビールグラスを片手に本年の撮影会の話や撮影機材の蘊蓄やらを語り合いました。

12月11日から1月29日にかけてベストワン写真展をJPIロビーにて開催しております。包装管理士の皆様のご感想を是非お聞かせ下さい。



都電荒川線・撮影会

中部支部だより ●●●

新包装管理士を迎えて

中部支部長 岡部 智（27期）

平成27年10月16日（金）第50期包装管理士の誕生を祝って、ホテルキャスルプラザにおいて中部支部の交流懇親会を開催しました。会に先立って、私もIPP支部長として出席の機会がありましたが、JPI中部支部主催の合格証書授与式が挙行されました。

式は越野常務から一人ずつへ証書の手渡し、来賓のあいち産業科学技術総合センター・産業技術センターの大野博様よりご祝辞をいただいた後、銅賞を受賞したJSR株式会社の古田良治さんが受講生を代表して謝辞を述べられて厳粛のうちに終了しました。

続く、交流懇親会は参加された50期生を主役に、迎える側は支部長以下の役員会員に来賓講師を合わせて、総勢92人の参加で、大変盛り上がりしました。実際、会話がそこかしこで大いに弾んでおりました。この中から新会員として多くの方が入会されることを希望します。

また、今後のIPP中部支部の開催行事は、JPI中部

支部との共催であります。平成28年1月13日（水）に中部包装界賀詞交歓会、および今回合格されたなかでとくに優秀な包装論文を発表する場として第55回包装技術研究大会中部大会を2月18日（木）に開催します。



会話が弾む新包装管理士

A) 2015包装事例研究発表会

B) 第50回包装管理士合格証書授与式

C) 懇親・交流会を開催しました。

日時：平成27年11月6日（金）14：00～20：00

場所：IPシティホテル福岡

A) 2015包装事例研究発表会

①感嘆 開閉BOX「PON-PA」の開発

TOTO(株) 石田 直樹氏

②個食対応鍋スープ包装の包材開発

凸版印刷(株) 吉田 雅章氏

③厚膜サーマルプリントヘッドの輸送容器変更による不良の改善

ヒロホー(株) 池田 善則氏

④全天候型常温アスファルト合材用の高防湿ラミネート袋の開発

(株)ニッポー 武富 恒次氏

⑤輸送における段ボール擦れ痕への包装改善

コバシ(株) 中神 孝文氏

⑥ 段ボール製品 包装用4段式スペーサの開発

大石産業(株) 岡田 裕二氏

⑦ 医薬品変動情報バーコードに対応した個装箱デザインの開発

帝人ファーマ(株) 吉川 宏紀氏

*全日本包装技術研究大会（福岡大会）発表予定者と今期の受講者による熱心な発表と意見交換で盛況でした。

B) 第50回包装管理士合格証書授与式

福岡会場は42名の合格者が誕生しました。今後の企業での活躍と社会貢献を期待します。今期を含めた包

装管理士有資格者総数「12,665名」は、企業の意識の高さを象徴します。これからが本当のスタートです。

C) 懇親・交流会を開催しました。

第50期の包装管理士と西日本支部の役員・講座の講師先生と意見交換・交流は、今後の活動に必ずや役に立つと確信します。特に包装管理士間の異業種交流は皆さんの財産です。



論文発表会会場



懇親・交流会



包装界合同新年会で、IPPのメンバー集合

● 編集後記 ●

第49回定時総会が無事終了し、今年は日本包装管理士会が創立50周年を迎えます。前号の「ippニュース」をお送りする際に、皆様のご協力で誕生したキャラクター「つつむ君」の名刺貼付用シールを同封しましたが、活用していただいておりますでしょうか。

IPPの創立50周年をぜひ皆様からもPRしていただきますよう、お願いいたします。

本誌の巻頭に告示しましたように、6月10日に創立50周年記念の記念セミナー、記念式典・パーティーを開催します。記念セミナーの講師は、元日経デザインの編集長、下川一哉氏にお願いしました。下川氏は商品開発とそのパッケージ開発に関しては豊富なご経験と貴重な知見をお持ちですので、今からセミナーが楽しみです。

皆様もお聴き逃しのないようにご参加をお勧めいたします。また、記念パーティーは全国の包装管理士が交流する絶好の機会です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

包装管理士講座も第50期となり、新しい合格者を含めると日本の包装管理士有資格者は、12,665名になりました。皆さまの周りの新包装管理士がひとりでも多く包装管理士会に入会していただけますように、皆さまからの勧誘をぜひ、よろしくお願いいたします。

皆様からの情報をIPP本部事務局、ホームページにお寄せ下さいますようお願いいたします。

荒井 拓哉 (12期)

日本包装管理士会 / Institute of Packaging Professionals, Japan

e-mail: ipp@pk9.so-net.ne.jp
http://www.ippj.net/

■本 部	〒 104-0045	東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 10F 日本包装技術協会内	☎ : 03-3543-9250 fax : 03-3543-8970
■北海道支部	〒 060-0004	札幌市中央区北一条西 2丁目 北海道経済センタービル 北海道生産性本部内	☎ : 011-241-8591 fax : 011-241-3898
■東北支部	〒 021-0893	岩手県一関市地主町 3-35 株式会社 東北ウエノ内	☎ : 0191-21-4531 fax : 0191-21-5381
■関東支部	〒 104-0045	東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 10F 日本包装技術協会内	☎ : 03-3543-9250 fax : 03-3543-8970
■中部支部	〒 450-0003	名古屋市市中村区名駅南 4-1-2 17日通ビル 2F 日本包装技術協会内	☎ : 052-563-7110 fax : 052-563-7123
■関西支部	〒 530-6691	大阪市北区中之島 6丁目 2-27 中之島センタービル 28F 日本包装技術協会内	☎ : 06-6444-6479 fax : 06-6444-6450
■西日本支部	〒 838-0068	福岡県朝倉市甘木 2144-11 中村包装管理士事務所内	☎ : 0946-22-3798 携帯 : 080-5263-2144

----- Copy & FAX 用切取線 -----

日本包装管理士会会員登録データ変更届

■宛先 日本包装管理士会事務局 fax : 03-3543-8970 ☎ : 03-3543-9250

フリガナ						
氏 名			会員番号	番	平成	年 月 日届
会 社	社 名					
	所 属					
	住 所 〒					
	TEL			FAX		
	E-mail					
自 宅	住 所 〒					
	TEL			FAX		
	E-mail					